



秋のドラマ特別企画

～天国のママへ～

明日

君の遺した言葉を
探しに行こう。
いのちを育む、
森の中に。

11月11日(月)より9時

TBS系 全国ネット

作：井沢 満 製作：MBS TBS 制作協力：MMJ

萩原聖人 木村多江

藤本哉汰

谷花音

矢田亜希子

上條恒彦

津川雅彦

東

京で設計事務所を営む水沼春樹(萩原聖人)は仕事に明けくれ、小学生になる息子・蓮(藤本哉汰)のことは妻・響子(矢田亜希子)に任せきりだった。ところが去年、体の不調を訴えて入院した響子が、治療の甲斐なくあっけなくこの世を去った。突然始まった息子との二人きりの生活に、春樹は戸惑いを隠せない。そしてまた突然母親を亡くした蓮も、生きる気力を失っていた。そんなある日、春樹と蓮は、響子の一周忌を終えて、響子の実家がある岐阜県加子母を訪ねた。響子の実家は五百年間、山守として林業を営んできた家柄。父・内木繁弥(津川雅彦)は二十代目として一人暮らしをしながら家業を守っている。娘である響子が家業を継ぐことを期待していた繁弥は、春樹との結婚に反対し式も欠席した。春樹が実家を訪れるのは、結婚の申し込みに来て以来、十数年ぶりのことだった。実は、春樹は今回の訪問であることを密かに期待していた。響子の遺品の手帳に書かれた「幸せの木」が何を意味するのかを知りたいと思っていたのだ。ところが、繁弥は春樹に対して冷ややかで、蓮にもまるで他人のような態度を見せる。仕方なく宿を探すため道を引き返す途中、父子は繁弥の幼馴染である湧田源治(上條恒彦)の娘・葉摘(木村多江)と孫娘・菜摘(谷花音)に出会う。二組の親子は意気投合し、春樹たちは湧田家で宿泊することになった。葉摘の夫は家を出て、夫婦は離婚の危機に瀕しているという。源治は、繁弥が響子と春樹の結婚後意固地になり、近所付き合いもよくないと寂しそうに語る。残念なことに「幸せの木」については源治も葉摘も心当たりがないようだ。翌日、春樹は伐採を手伝うため葉摘と一緒に森に入った。木々に囲まれながら働くうち、春樹の心は癒され、葉摘に心を開いていく。一方、蓮は葉摘と源治と三人で溪流釣りに出かける。蓮もまた自然に癒されていたが、突然源治が倒れ意識を失う。山奥では携帯電話はつながらない。助けを呼ぶために蓮は一人で山道を駆け降りるのだが…。

幸せの木